



令和6年9月定例会

一般質問



9月定例会では、9月4日、5日の日程で一般質問が行われ、5人が登壇。
内容では、先だって開催された市政懇談会で出された意見を踏まえたものや、本市の観光・商工・農林水産業の振興に関するもの、生活環境に関する質問などが取り上げられ、それぞれの議員が市の考えを質しました。

【登壇者】

〈1日目〉9月4日	〈2日目〉9月5日
綾香 良浩 議員 (新蒼会)	松尾 実 議員 (政和会)
吉住 龍三 議員 (政和会)	
針尾 直美 議員 (新波クラブ)	
神田 全記 議員 (新蒼会)	



一般質問とは

議員が市政運営全般にわたり、その執行の状況や将来の方針、考え方などを市側に質し、答弁を求めることをいいます。平戸市議会では定例会毎に実施しており、答弁時間を含めて、1人あたり60分の持ち時間が与えられています。

※本ページ下段からの掲載内容については、いずれも登壇者本人の文責です。
各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧になれます。

◎ 赤潮発生について、関係団体や養殖事業者に対して情報の共有は行われているか。また、魚類養殖だけではなく、真珠養殖への情報共有は。危機管理の徹底を図っていただきたい。

◎ 農林水産部長 赤潮調査結果は、県が即時、関係機関へ共有・通知される体制が構築されている。真珠養殖業者に對しても漏れなく周知されるよう再確認を行う。

◎ 鄭成功記念事業について、これまでの実績や成果を踏まえ、次年度以降に向けた取組をどのように考えているか。

◎ 市長 これまでの民間交流や生誕祭など鄭成功生誕地が市民の皆さんに受け継がれている。今後も、国内外に鄭成功ファンがいるので、引き続き、このつながりを生かしながら国際交流や観光誘客につなげていく。

◎ 再生可能エネルギーの活用は必要だが、過度に自然や景観を破壊し、地域や市民の方々に不安を与えるようなものであってはならない。近年、太陽光発電を中心に、多様な事業者が参入し、安全面や防災面などに対する地域住民の懸念が高まっている。

◎ 赤潮対策と養殖業の現状について

◎ 鄭成功400周年記念事業について

◎ 太陽光発電（事業用）の影響について

◎ ガソリンスタンドのない度島地区への対応は

綾香 良浩 (新蒼会)



市民の方の不安を払拭するため市においても対応が必要ではないか。

◎ 市民生活部長 事業者と地域住民間のトラブルが顕在化していることは事実。本市で事業展開する事業者に対し、国のガイドラインの遵守を強く求めるとともに、本市の実態に沿った独自のガイドラインを導入することを決定し、策定に向けた作業を進める。

◎ ガソリンや軽油などは、自家用車や農業機械への燃料として、日常生活において必要不可欠なもの。その燃料を度島地区の方は島内にガソリンスタンドがないため、日々負担を強いられている。負担を軽減するため補助事業やハード面など、包括的に取り組むべき。度島地区以外でも将来の地域課題となる可能性もある。危機管理の視点からも対応策を検討する必要があるのではないか。

◎ 財務部長 農協や漁協とも協議し、情報共有を行っている。市として何ができるか引き続き検討していく。

◎ 市民生活部長 補助制度のあり方を含めた見直しを本年度中に併せて検討していく。

行政視察報告

議会運営委員会 大阪府和泉市・阪南市

【参加者】 議会運営委員会

委員長：辻 賢治 副委員長：山内 貴史 委員：神田 全記 吉住 龍三 吉福 弘実

【視察日】 大阪府和泉市 令和6年7月3日

【目的】

議会運営・議会改革について
議会BCP（業務継続計画）について



【概要】

和泉市議会は、早稲田大学マニフェスト研究所が毎年実施している「議会改革度調査」で2022年度172位から、2023年度には9位へと躍進。大きな改革を行ったわけではなく、簡単にできることを積み重ねて取り組んだ結果であるという。

また、市の業務継続計画策定に伴い、非常時でも議会機能を維持し、迅速な意思決定と多様な市民ニーズの反映に資するため「和泉市議会BCP」を令和5年4月に策定。

今回の視察では、これらの取り組みに至った経緯、方法、課題などについて意見交換を行った。

【視察日】 大阪府阪南市 令和6年7月4日

【目的】

議会のペーパーレス化と業務効率向上について
議会基本条例制定に向けた取り組みについて



【概要】

阪南市議会では、令和2年度に議会活性化と議会改革推進のため「議会改革推進検討会」という任意組織が設置され、①議会のペーパーレス化・ICTについて、②議会役員構成任期について、③議員報酬について、④議会基本条例の制定についての4項目が議長より諮問され、検討がなされてきた。今回の視察では、この議会改革検討会における検討内容のうち、上記目的2点を中心に意見交換を行った。

視察報告書の全文は、こちらの二次元コードからご覧になれます。



議会広報特別委員会 福岡県久留米市

【参加者】 議会広報特別委員会

委員長：針尾 直美 副委員長：松口 茂生 委員：綾香 良浩 池田 稔巳 山内 貴史

【視察日】 令和6年7月2日

【目的】 議会だよりの企画と編集について、その他議会の広報活動について

【概要】

久留米市では、令和2年度からタウン誌などの発行を手掛ける民間業者と、「市議会だよりの企画編集業務に関する委託契約を結び、同年8月号からレイアウトを刷新。以降、民間業者の持つ柔軟な発想・視点・ノウハウを取り入れた「特集」などのコンテンツを開始し、市民が手に取り読みたくなるような紙面づくりに取り組んでいる。

その結果、議会だよりの堅苦しさを感じさせない編集や、読みやすくわかりやすい紙面などが高く評価され、中核市議会議長会（人口20万人以上の全国62市議会が加盟）が主催する「議会報コンクール」で、令和5年度に優秀賞、令和6年度に最優秀賞を受賞している。

今回の視察では、議会広報誌の部門で革新的な取り組みを実施している久留米市議会を訪ね、議会だよりの企画と編集について、およびその他SNSなどを活用した情報発信について、その方針と制作方法などの実務上の運用などについて、意見交換を行った。



視察報告書の全文は、こちらの二次元コードからご覧になれます。

